

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 獨協学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科（新課程）	夜・通信	63単位	9単位	
	看護学科（旧課程）	夜・通信	21単位		
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.dokkyomed.ac.jp/kango/curriculum/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 獨協学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.dac.ac.jp/pdf/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	副市長	R3.6.1 ～R5.8.1	組織運営体制への チェック機能等
非常勤	医療法人理事長	R1.8.2 ～R5.8.1	〃
非常勤	上場企業の 健康保険組合常務理事	R1.8.2 ～R5.8.1	〃
非常勤	公益財団法人理事長	R1.8.2 ～R5.8.1	〃
非常勤	元私立大学副学長	R4.4.1 ～R5.8.1	〃
非常勤	経営者協会副会長	R3.4.1 ～R5.8.1	〃
非常勤	弁護士	R1.8.2 ～R5.8.1	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 獨協学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとに授業担当者を選出した上で、授業の方法及び内容、学習目標及び成績評価の方法や基準・履修上の注意等について記載して編纂し、ホームページにて公表し、その周知に努めている。1・2年次の基礎看護学実習及び地域・在宅看護論実習については、最新の内容で実習の手引きを作成し都度配付して実習に臨ませている。</p> <p>また、3年生の授業科目は、ほぼ全て実習であり、「実習の手引」を作成し、2年次2月の実習開始時に配付している。実習科目ごとの目標・方法・内容及び評価方法について詳細に収載している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.dokkyomed.ac.jp/kango/curriculum/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本校は、出席を重視する。成績の評価には出席状況を加味している。従って、授業回数ごとに原則として出席を取っている。また、原則として各科目の出席回数が当該科目の全授業回数の3分の2を満たしている者に、受験資格を与えている。授業科目修了の認定は、筆記、口述、実技による試験、その他の方法による。成績の評価は、次の4段階に分ける。</p> <p>A (100～80点)、B (79～70点)、C (69～60点)、F (59点以下)</p> <p>本試験が59点以下の科目は不合格となり、再試験で合格すれば履修を認定している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標の設定については、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)方法を採用。点数は、59点以下、60点～69点、70点～79点、80点～100点の4区分を設定する。第1学年学生全員の科目の評価点を合計し、合計点に従い学生を各区分に分類する。

また、成績評価の適切な実施については、学則及び履修規程・臨地実習評価規程に、成績評価方法が明記されており、それらは「学生生活のしおり」に記載されている。「学生生活のしおり」はホームページにて公表し、その周知に努めている。

入学時教育ガイダンスにおいてや試験前には試験に関するオリエンテーションを実施し、成績評価方法について周知を図っている。成績の分布状況の把握は、成績管理システムによりデータ化され、教務委員会において進級に関する審議がなされ運営委員会にて承認を受けている。

また、学生の保護者へは、年度末に成績表を郵送にて報告している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.dokkyomed.ac.jp/kango/curriculum/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則(卒業及び称号の授与)並びに履修規程(卒業の要件)、臨地実習評価規程に基づき、卒業判定は教務委員会及び運営委員会の議を経て学校長が決定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

「学生生活のしおり」に記載
<https://www.dokkyomed.ac.jp/kango/curriculum/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	獨協医科大学附属看護専門学校
設置者名	学校法人 獨協学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.dac.ac.jp/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://www.dac.ac.jp/finance/
財産目録	https://www.dac.ac.jp/finance/
事業報告書	https://www.dac.ac.jp/finance/
監事による監査報告（書）	https://www.dac.ac.jp/finance/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	102	63	14	23	0	2
		98	58	15	23	0	2
		単位	単位	単位	単位	単位	
			102		単位		
			98		単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
300 人		246 人	0 人	17 人	134 人	151 人	

※上段：新課程 下段：旧課程

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

- 1) 授業は、講義、演習、実習、実技などによるものと、これらの併用により行われるものがある。
- 2) 個々の授業科目における年間の授業計画については、シラバスにおいて学習目的、学習目標を掲載している。3年間で看護師国家試験受験資格に必要な92科目、102単位（2,940時間）を学習する。中でも、総授業時間数の約35%（1,035時間）にあたる臨地実習では、単科精神病院・保育園・地域の施設など多くの臨床現場で、看護師や他職種と保健・医療・福祉チームの一員として、人々のニーズに適した看護実践を行うことができるよう具体的に学習していく。
- 3) 臨地実習は、良質な臨床看護実践能力を備えた看護師を育成することに重点を置く。実習方法は、少人数のグループ編成をとり、一人の患者を受け持つ実習の他に、複数受け持ち制や夜間看護実習などを取り入れ、より実践に沿った状況で臨床看護実践能力が身につくように実習を行う。

成績評価の基準・方法

(概要)

本校は、出席を重視する。成績の評価には出席状況を加味している。従って、授業時間ごとに原則として出席を取っている。また、原則として各科目の出席時間数が当該科目の全授業回数の3分の2を満たしている者に、受験資格を与えている。授業科目修了の認定は、筆記、口述、実技による試験、その他の方法による。成績の評価は、次の4段階に分ける。

A (100～80点)、B (79～70点)、C (69～60点)、F (59点以下)

本試験が59点以下の科目は不合格となり、再試験で合格すれば履修を認定している。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業判定は、学則（卒業及び称号の授与）並びに履修規程（卒業の要件）、臨地実習評価規程に基づき、教務委員会及び運営委員会の議を経て学校長が決定する。

進級判定は、学則（進級）並びに履修規程（進級の要件）、臨地実習評価規程に基づき、教務委員会及び運営委員会の議を経て学校長が決定する。

学修支援等

(概要)

高等学校教育の復習と基礎学力の維持を目的として、入学前教育を取り入れている。

また、国家試験対策の一環として、看護師国家試験の模擬試験を3年間を通して実施している。

奨学金については、学校独自の給付型奨学金と貸与型奨学金制度及び同窓会（杏の会）による給付型奨学金（あんず奨学金）がある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
99 人 (100%)	3 人 (3.0%)	90 人 (90.9%)	6 人 (6.1%)

(主な就職、業界等)

主に病院看護師

(就職指導内容)

大学雇用戦略室を中心とした本学就職支援体制が確立されており、毎年本学3病院の就職説明会及び見学会に2年生が参加している。

また、教員による定期的な進路調査、個別の面談を年に数回実施している。

(主な学修成果（資格・検定等）)

看護師国家試験合格率は、過去10年間において平均96.9%であり、好成績を収めている。

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
270	4	1.5
人	人	%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習意欲を維持し、学習習慣を身につけられるよう動機づけ、モチベーションを高める支援をしていく。昨年度からLMS上に学生支援室を開設し諸々の相談に対応している。 また、カウンセラーによるカウンセリングや担任による定期的な面談・相談を継続的に実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	50,000 円	300,000 円	150,000 円	その他の内容：教育充実費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
学校独自の奨学金として、月額20,000円の給付型奨学金と月額50,000円 (家計急変の場合は100,000円) 以内 (10,000円単位) の貸与型奨学金制度がある。 また、同窓会 (杏の会) による給付型奨学金 (あんず奨学金) がある。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.dokkyomed.ac.jp/kango/school/evaluation.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、本校の関連業界、卒業生、保護者など密接に関係する者の理解促進と継続した連携協力体制の確保により、学校運営等の改善を図るため、外部委員による評価を実施、結果を公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な評価項目 <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育理念・目的・期待する卒業生像 2. 学校運営 3. 教育活動 4. 学修成果 5. 学生支援 6. 教育環境 7. 学生の募集と受入れ 8. 財務 9. 法令等の遵守 10. 社会貢献・地域貢献 ・ 評価委員会の構成 <ul style="list-style-type: none"> 在校生保護者(1名)、卒業生(2名)、高等学校等の関係者(1名)、 企業・地域等の関係者(1名) ・ 評価結果の活用方法 <p>学校は、改善意見について、重点課題、評価項目ごとに整理し、教育活動等への具体的な活用について、方針・方策を策定して明確にする。</p> <p>次期重点課題策定、評価の実施に反映する。</p> 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
第1学年保護者	R4. 4. 1～R6. 3. 31	保護者
同窓会員	R4. 4. 1～R6. 3. 31	卒業生
同窓会員	R4. 4. 1～R6. 3. 31	卒業生
栃木県内に所在する高等学校教員	R4. 4. 1～R6. 3. 31	高等学校等の関係者
栃木県内に所在する看護職の 専門職能団体職員	R4. 4. 1～R6. 3. 31	企業・地域等の関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.dokkyomed.ac.jp/kango/school/evaluation.html		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.dokkyomed.ac.jp/kango/>